



- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2019年9月6日配本 定価3672円(本体3400円+税) 澤野雅樹 著 ミルトン・エリクソン 魔法使いの秘密の「ことば」 ISBN978-4-588-18216-7 C0011 ★★ ミルトン・エリクソンは医療催眠と人の意表を突く処方でも知られ、どれほど厄介な問題でも解決するその手腕は「魔法」とも呼ばれた。「いったい私は何をしたのでしょうか？」彼が問いかけるこの言葉が成し遂げるものとは何か。言語と身体をつながり、文と心身をつながり、発話と情緒をつながり、そして言語と人の生死とのつながり——彼の問いかけとともに、伝統的な哲学や言語学の境界を超えて、新たな地平に踏み出す。【心理・哲学】 ☆関連書：クエエ他『自己暗示』、ワツラウィック他『変化の原理』、ド・シェイザー『解決志向の言語学』(小局刊)。	四六判上製・350頁
-------	----	--	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2019年9月20日配本 予価4104円(本体3800円+税) マヌエル・アサーニャ 著／深澤安博 訳 ベニカルロの夜会 スペインの戦争についての対話 ISBN978-4-588-01099-6 C1398 ★ 政治的混乱の続く1931年にスペイン共和国首相となり、36年には人民戦線内閣の首班として大統領に就任、激しい内戦の果てに亡命先で没した政治家マヌエル・アサーニャ。本書は、民主主義的共和主義を理想とする文学者でもあったアサーニャが、凄まじい殺戮と悲劇の渦中にある祖国の思想状況を対話形式で描き、死の前年の39年に刊行された歴史的作品である。本邦初訳、訳者による詳細な解説を付す。【スペイン思想・文学】 ☆関連書：佐々木孝著／執行草舟監修『情熱の哲学』、ウナムーノ『ペラスケスのキリスト』執行草舟監訳(小局刊)。	四六判上製・258頁 《叢書ユニベルシタス1099》
-------	----	--	-------------------------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2019年9月25日配本 定価5184円(本体4800円+税) 淵田 仁 著 ルソーと方法 ISBN978-4-588-15104-0 C1010 「貴方がたが神のように崇める秩序や方法は私にとって忌み嫌うべきものなのです」——啓蒙の世紀において知を知らしめる社会的規範であった分析的方法を欺瞞として斥け、認識の原理と歴史の記述をラディカルに問い直した孤高のフィロゾフ、ルソー。自らのエクリチュールを(山師のやり口)と称し、フランスの言論空間を揺るがせつづけた彼の、きわめて特異で真に哲学的な問題意識を剔出する。【哲学・思想】 ☆関連書：逸見龍生ほか編『百科全書の時空』、野沢協訳『ドン・デシジャン哲学著作集』(小局刊)。	A5判上製・376頁
-------	----	---	------------

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2019年9月25日配本 定価5616円(本体5200円+税) 山村 奨 著 近代日本と変容する陽明学 ISBN978-4-588-15103-3 C1010 幕末から明治維新、そして現在に至るまで、近代日本における陽明学は、国家における道徳、社会改革の思想、個人の修養という流れで展開してきた。陽明学が明治維新を導いたという言説が近代の陽明学の成立に深く関わることを明らかにし、さらには陽明学を学んだ者たちがどのようにして陽明学を変容させたのか、その系譜を辿り、近代日本思想史の新たな見方を提示する。【哲学・思想】 ☆関連書：志野好伸編『聖と狂』、藤田正勝編『思想間の対話』(小局刊)。	A5判上製・414頁
-------	----	--	------------

重版出来!!	部数	法政大学出版局 2019年9月重版出来 定価3456円(本体3200円+税) ソニア・O・ローズ 著／長谷川 貴彦・兼子 歩 訳 ジェンダー史とは何か ISBN978-4-588-35008-5 C0020 フェミニズム運動を淵源の一つとするジェンダー史は、単なる「女性の歴史」を超えて、既存の歴史学に新たな視点と刺激を提供し続けてきた。変容する「男らしさ」と権力の関係、奴隷制や近代国民国家の形成とジェンダーの関わりなど、対象領域を拡張し、今や言語論的転回以後の歴史学をも展望しうる分野に発展している。ジェンダー史の変遷を知るとともに、歴史学を捉え直す視点を獲得できる刺激的な入門書! 【歴史学・社会学】 ☆関連書：ピーター・バーク『文化史とは何か 増補改訂版』長谷川貴彦訳(小局刊)。	四六判上製・262頁
--------	----	--	------------

重版出来!!	部数	法政大学出版局 2019年9月重版出来 定価3672円(本体3400円+税) ダーヴィッド・ヴァン・レイブルック 著／岡崎 晴輝、ディミトリ・ヴァンオーヴェルベーク 訳 《サビエンティア58》 選挙制を疑う ISBN978-4-588-60358-7 C0331 減り続ける投票率、金や人脈かもの言う選挙戦。有力者の声しか反映されない政治に人々は背を向けるばかり。その解決策として、くじ引きで議員を選ぼうと訴えた本書は、欧米でベストセラーとなった。じつさい多くの国では陪審制や裁判員制度が実施され、アイスランドではくじで選ばれた市民が憲法改正案を策定している。多数の実例に基づく著者の主張に、読者は深く共鳴することだろう。【選挙制・民主主義】 ☆関連書：『民主主義の死に方』(新潮社)、『民主主義のつくり方』(筑摩選書)など。	四六判上製・248頁
--------	----	---	------------

ご担当者様 氏名： [] 担当ジャンル： [] TEL： [] E-mail： []

* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
 * 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
 * 今後、新刊内容のデータ等を e メールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。